

科目名	医療福祉施設安全管理学特論		D1-208	担当教員名	宇田 淳
単位数	2単位		選択	配当年次	1年次・第1 Semester (通期)
曜日・時限	火曜日・6限目		教室	オンライン授業	
授業概要	担当教員の作成した資料を中心に施設の空間を理解するためにスライドを交え講義を行い、一部の講義テーマより、意見交換をします。医療福祉施設を計画・設計するのに必要な寸法計画、規模計画、動線などについての基礎的知識、さらに機能と諸室の解釈や成立の過程について学びます。また、施設環境における人間の心理や行動を説明し、医療安全に対する建築学的アプローチについて学びます。				
到達目標	1) 医療福祉制度を理解し、医療福祉施設建築の施設計画について、体系的かつ論理的に説明できる。 2) 診療報酬における施設基準を理解し、具体的建築計画を説明でき、提案することができる。 3) 患者など利用者や職員など使用者に与える空間の持つ意味と安全について深く理解し、施設の役割について説明できる。 4) 複雑な建築プログラムを理解し、与えられた条件の中で空間について提案することができる。				
回	日程	見出し	内 容		実践的な授業方法
1	4/6	空間の捉え方	各種の建築空間と設備はどのように作り出されているのかを考える。 [ディスカッション]		○
2	4/13	政策制度と医療福祉施設計画	病院建築が社会との関係で形作られたのか、考える。 [ディスカッション]		○
3	4/20	地域医療福祉計画	各種統計から医療福祉の需要、供給体制を分析し、施設機能、規模を計画する。[演習]		○
4	4/27	企画から建設まで	企画、基本計画、設計体制の選定、設計の進め方、工事、保守管理などを学ぶ。		
5	5/4	全体計画	機能と形、人の動きとモノの流れ、部門間の関係、面積配分、建築構造、設備計画を学ぶ。		
6	5/11	外来・救急部の計画	新しい外来診療の形、独立外来型、高度通院診療センター、救急部について学ぶ。		
7	5/18	病棟の計画	看護単位の考え方、規模計画、病棟構成、病室計画、個室病棟などを検討する。[ディスカッション]		○
8	5/25	診療・供給・管理部門の計画	検査部、診療放射線部、手術部、分娩部、特殊診療部、健診部、薬剤部、中央材料滅菌部、栄養部、供給センターなどについて学ぶ。		
9	6/8	福祉施設の基本	利用者の生活全般を理解し、介護に関する適切な判断と行動ができる環境について学ぶ。		
10	6/15	高齢者介護施設	介護保険施設、福祉施設の環境について検討する。 [ディスカッション]		○
11	6/22	ICTと建築	情報システムの導入と医療福祉施設に及ぼす影響について検討する。 [ディスカッション]		○
12	6/29	建築・設備からみた安全管理(1)	転倒・転落、盗難、感染管理について検討する。 [ディスカッション]		○
13	7/6	建築・設備からみた安全管理(2)	火災対策について概説し、施設環境評価について検討する。 [ディスカッション]		○
14	7/13	建築・設備からみた安全管理(3)	自然災害対策(地震)について学ぶ。		
15	7/20	建築・設備からみた安全管理(4)	自然災害対策(津波、洪水)、災害医療について検討する。 [ディスカッション]		○
キーワード		施設建築、安全・安心、災害、政策・制度	履修条件	なし	
教材等	教科書(要事前購入)	教科書は特に指定しない。講義で使用する資料は適宜配付する。			
	参考書(任意購入)	『医療施設 (IS建築設計テキスト)』小松正樹(編集)、市ヶ谷出版社 2014年、『病院建築スペシャリティへの道』山下設計病院建築プロジェクトチーム著、建築技術 2015年、『改訂 医療福祉施設 計画・設計のための法令ハンドブック』日本医療福祉建築協会(編集)、中央法規出版 2018年			
成績評価方法(%) [評価のポイント]		①授業への参加状況(30%)、②レポート(70%) [①授業への積極性、②講義内容を十分理解し、医療介護施設環境における問題に対して適用できるかを評価します。]			
授業時間外に必要な学修		いろいろな施設を見学し、自施設の課題を整理し、普段から注意深く、観察眼を養うこと。			
学生へのメッセージ		提供されるサービスの質を保証している仕組みを患者の療養環境、職員の作業環境、安全という観点から一緒に学び、立体的に施設をとらえることを試みてみよう。			

※ 授業の日程については変更する場合があります。